

第7回

磁気刺激研究会セミナー

-rTMS 療法の現状と展開-

わが国でも反復経頭蓋磁気刺激療法 (rTMS) が保険診療として導入され、うつ病治療の選択肢が広がった。一方、2022年2月現在、rTMS療法の均てん化は十分とはいえず、緊急の課題といえる。本セミナーでは、rTMS療法の現状およびトピックを報告するほか、均てん化に向けた取り組みを紹介する。

鬼頭 伸輔

参加費
無料

開催日

2022年 2月 26日 土

申し込み

下記 URL、または QR コードよりお申込みください。お申込み時にご入力頂いた、メールアドレスへ視聴用 URL が返信されます。

時間

16:00 ~ 17:30

※お申込み・ご視聴には ZOOM アカウントが必要となります。

<https://www.irc-web.co.jp/seminar/20220226>



開催形式

ZOOM ウェビナー形式

講演 1 | 自由診療での TMS 治療最前線！新たな治療選択肢としての TMS 治療の光と影

大澤 亮太先生

(医療法人社団こころみ 理事長)

臨床医にとって TMS 治療はどのようなメリットがあるのでしょうか？

東京横浜 TMS クリニックでは自由診療の良さを生かして、「治療選択肢としての」TMS 治療を追求しています。

年間 500 症例の治療成績をご紹介させていただくことで、新たな治療選択肢としての TMS 治療の魅力と、

自由診療マーケットにおける実情をお伝えしたいと思います。

講演 2 | 患者と医者双方にとって医療の質を高めるための TMS 療法とは？

野田 賀大先生

(慶應義塾大学医学精神・神経科学教室特任准教授)

経頭蓋磁気刺激法 (TMS) が世に出て、今年で 36 年目を迎える。

その後の技術革新と臨床研究の積み重ねにより、現在では欧米を中心に治療抵抗性うつ病に対して、

薬物療法・心理療法以外の第三の治療戦略となってきた。今回の磁気刺激研究会では、「今、何故 TMS 療法が必要なのか？」

について様々な角度から議論したい。

講演 3 | rTMS 療法の均てん化を目指して

鬼頭 伸輔先生

(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部長・臨床心理部長)

2019年6月より rTMS 療法は保険診療となったが、施設基準、算定要件から

実施できる医療機関は限られている。新規刺激法であるシータバースト刺激に関する研究および均てん化に向けた

取り組みについて紹介する。